

社団法人 日本経営士会 千葉支部 会報

EMC 千葉

**Ever
Management
Consultant
Chiba**

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目1-17
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成24年5月26日発行

第91号

去る5月12日に社団法人日本経営士会千葉支部の第4回（通算第57回）定時報告会が執り行われました。近年の環境悪化により経営士会・支部も活動を見直しており、会場を変えてコンパクトに開催されました。春の嵐や降雹、竜巻の発生と天候も不順であります、金環日食のような天体ショーなど自然の偉大さを感じさせられるこのごろです。

ごあいさつ

(社)日本経営士会 千葉支部

支部長 西村 豊

策年度、社団法人日本経営士会は、公益法人制度改革に伴う一般社団法人への移行認可取得に向け「新定款」の内容検討を行い、この春最終案が各会員に配布されました。この「新定款」は正会員の四分の三以上の賛成による特別決議を経て、内閣府に提出されることになります。予定通り進めば、本会は平成25年4月1日、晴れて一般社団法人日本経営士会として生まれ変わることになります。

この移行時期(平成24・25年度)を担当する役員については、改選時期を待たずして、昨年既に前倒しで決定されており、私は更にあと2年間、支部長のお役目を全うすることになります。支部としては、ますます対外的な公益性の高い活動が要求されて参りますし、千葉県に軸足を置いた社会貢献活動に力を入れて参るつもりです。どうか、会員の皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

キーワードは「共創 (Associate)」です

さて、新しい期がスタートし、5月12日（土）に定例の支部報告会を終え、支部の体制も新たになり（後記）、幹事、監事、運営委員の皆様も心機一転張り切っています。今期、活動として目指すことは、支部の事業活動全てにおいて「質の向上」をはかり、社会貢献活動を通じ、地域の企業、団体に「日本経営士会千葉支部の経営士」を認知して頂くことです。その為には組織として結集した「新たな価値を創造」していくことが重要です。

共創とは、異なる背景を持った人が一体となり、一人一人の得意分野（強み）を連携させて高い成果を生み出すことです。やがてそれが社会にとって新しい価値を創造していくことにつながってきます。

昨年は高齢化に伴う退会者が続き、千葉支部は今年75名でスタートすることになります。しかし、若い力をさらに開拓、結集することで、さらに若い方々を呼び込みシナジー効果を発揮し、会員増強につながることを期待します。どうか、会員の皆様のご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

第 5 7 回 （千葉支部第 4 回） 定時報告会開催

平成 24 年 5 月 12 日（土）午後 3 時より、船橋市 勤労市民センターにおいて、千葉支部の第 5 7 回定時報告会が開催されました。

山田会員の開会のことばの後、西村支部長のあいさつ、来賓として鶴岡専務理事から本部動向に関するお話しをいただきました。

議長として西村支部長が選出され議事に入りました。

まず、鈴木副支部長より平成 23 年度の事業報告が行われ、各研究会、公開講演会など実施事業の成果が報告されました。同じく平成 23 年度の収支報告は大塚会員より行われ、岩野監事の監査報告により、平成 23 年度に関する審議事項は決議されました。

支部長選挙の結果及び支部新体制の発表を行ったのち、西村支部長より支部運営方針として、「共創（Associate）」というキーワードのもと支部会員の強みを連携させ高い成果を生み出す」などの方針が示され、鈴木会員から支部、各研修会の行事予定、大塚会員から平成 24 年度の収支予算の説明で、すべての議事が承認されました。

報告会終了後、会場を移して懇親会が開かれ、新たな支部活動への思いを語り合う有意義な時間を持つことができました。

会 場：船橋市 勤労市民センター

議 長：西村 豊 会員

書 記：新見健司 会員

議事録署名人：大塚亜喜雄 会員、榎田國男 会員

審議事項

- (1). 平成 23 年度事業報告承認の件
- (2). 平成 23 年度決算報告承認の件
- (3). 平成 23 年度監査報告の件
- (4). 支部長選挙報告及び新役員体制の件
- (5). 平成 24 年度事業計画(案)承認の件
- (6). 平成 24 年度予算(案)承認の件

日本経営士会千葉支部 平成 24 年・25 年度運営体制

以下のような支部体制で新年度は臨みます。

西村 豊	支部長	支部運営全般
山田 一	副支部長	支部行事運営、新規事業、千葉経営支援センター長
鈴木伸一	副支部長	事務局長（会員総務、会員増強）
林 久雄	副支部長	MPP 事業化推進、環境経営研究会主宰
中嶋清介	幹事	MPP 事業化推進担当
山下恭司	幹事	支部会計担当
大久保 篤	幹事	コンサルティング研究会主宰
新見健司	幹事	農業観光研究会主宰
鈴木弘道	運営委員	千葉県経営者協会教育研究部会担当、支部活動との連携
金子昌夫	運営委員	公開講演会等のイベント企画、実施
中野周行	運営委員	公開講演会等のイベント企画、実施
榎田國男	監事	支部事業監査（法務・コンプライアンス）
大塚亜喜雄	監事	会計監査（会計基準統一化）
鶴岡義明	相談役	本部専務理事

総会の様子



ごあいさつする西村支部長



鶴岡専務理事



研修・研究会日程

	本部支部行事・支部行事	研修会	MPP	MPP
	事務局	山田 一	中嶋清介	中嶋清介
4月	7日(土) 幹事会 船橋市中央公民館 13:00～15:00 28日(土) 幹事会 船橋市中央公民館 10:00～12:00	28日(土) 研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00 テーマ:環境関連		以下の研究会は、メール、ブログ等で日程を連絡いたします。 ・コンサルティング研究会 ・農業・観光研究会 ・環境経営研究会
5月	12日(土) 船橋市勤労市民センター 15:00～定時報告会 16:30～懇親会 26日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00	以下、会場、テーマ未定です。メール、ブログ等で日程を連絡します。		
6月	14日(金) 本部総会 30日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00	30日(土) 研修会(予定) エコ検定対策		
7月	28日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00		28日(土) MPP 研究会 船橋中央公民館 15:00～18:00	
8月		25日(土) 研修会(予定)		
9月	29日(土) 幹事会		29日(土) MPP 研究会 船橋中央公民館 15:00～18:00	
10月	13日(土)～14日(日) 第46回経営士全国会議 第3回イノベーションアワード 27日(土) 幹事会 公開講演会 予定	27日(土) 研修会(予定)		
11月	24日(土) 幹事会		24日(土) MPP 研究会 船橋中央公民館 15:00～18:00	
12月	15日(土) 幹事会 年末懇親会	15日(土) 研修会(予定)		
1月		26日(土) 研修会(予定)	関東5支部合同 MPP(予定)	
2月	23日(土) 幹事会	23日(土) 研修会(予定)		
3月	23日(土) 幹事会	23日(土) 研修会(予定)		

会議・研究会開催報告

第1回 常任幹事会

平成23年4月14日(土) 13:00～15:00

場 所 船橋市勤労市民センター

参加者 西村 豊、山田 一、鈴木伸一、山下恭司、林 久雄、鶴岡義明

1. 新年度予算について
2. 事業予定について
3. 研究会予算について

第1回支部幹事会

平成23年4月7日(土) 13:00～15:00

場 所 船橋市中央公民館

西村 豊、山田 一、鈴木伸一、大塚亜喜雄、山下恭司、中嶋清介、千葉道生、榎田國男、
林 久雄、大塚 亜喜雄、大久保 篤、新見健司、中野周行、鈴木弘道、金子昌男、藤江隆平、
岩野邦久、鶴岡義明

1. 前年度結果一次年度の方針について
2. 平成24年度の活動方針について
3. 理事・支部長会議報告
4. 報告会の準備、役割分担、確認事項
5. 年間スケジュールの確認

第2回支部幹事会

平成23年4月28日(土) 10:00～12:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 西村 豊、山田 一、鈴木伸一、林 久雄、山下恭司、中嶋清介、小塚彦明、金子昌男、
榎田國男、大塚亜喜雄、岩野邦久、鶴岡義明、大久保 篤、新見健司、藤江隆平

1. 報告会の段取りについて
2. 報告会資料、予算案の説明について
3. 本部報告

第57回 千葉県会定時報告会

平成 24 年 5 月 12 日(土) 13:00~14:00

場 所 船橋市勤労市民センター

参加者 岩野邦久、榎田國男、大久保 篤、大塚 亜喜雄、金子昌夫、鈴木伸一、鈴木弘道、関 彦次郎、
鶴岡義明、中嶋清介、新見健司、西村 豊、林 堯夫、林 久雄、山田 一、藤江隆平

西村支部長のあいさつの後、議長選出。議長より書記、議事録署名人を指名のうえ、昨年の報告と以下の議題について審議され承認された。

- (1). 平成 23 年度事業報告承認の件
- (2). 平成 23 年度決算報告承認の件
- (3). 平成 23 年度監査報告の件
- (4). 役員改選の報告
- (5). 平成 24 年度事業計画(案)承認の件
- (6). 平成 24 年度予算(案)承認の件

事後、場所を変えて懇親会が執り行われ歓談の後散会した。



記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 0 9 0 - 5 4 4 6 - 2 8 0 8

FAX : 0 4 - 7 1 3 3 - 1 3 0 3

MAIL : shin_suzuki@nifty.com

3月度 研修会

平成 24 年 3 月 24 日(土) 9:00~16:30

場 所 船橋市中央公民館

参加者 榎田國男、鈴木伸一&ご子息、高野充昭、山下恭司、鶴岡義明、中嶋清介、山田 一

テーマ いすみ鉄道、小湊鉄道を利用した南房総春の旅

今回は、昨年のビジネス イノベーション アワードで大賞を受賞しましたいすみ鉄道を訪れてみました。

千葉支部農業・観光研究会は昨年の総会におけるシテ方観世流橋岡 久太郎九世の講演、来賓としていすみ鉄道鳥塚社長が出席された縁で、いすみ地域での日本の伝統文化である「能」の世界を取り込んだ町おこし活動を展開中です。このようなこともあって、鉄道の沿線には菜の花が一面に咲き乱れ、春を満喫しながらの一日旅を企画致しました。

残念ながら、今年の陽気は期待に反して寒さが続き、菜の花も遅れがちで当日の陽気は春うららというよりも

コートをしつかりと着込んでの南房総の旅という感じで、千葉駅を出発する時は皆さん身体もこわばっていた様子です。

春満喫の旅の行程と銘打ったスケジュールはざっと次のようなものです。

J R千葉駅 8:53 発・・・大原駅着 9:57 いすみ鉄道大原駅発 10:39・・・大多喜駅着
11:09 <<大多喜城見学・昼食・大多喜町散策>> 大多喜町発 14:20・・・上総中野着
14:41 小湊鉄道上総中野発 15:01・・・五井駅着 16:12 J R五井駅発 16:16
・・・千葉駅着 16:39

大多喜駅ではホームで鳥塚社長が出迎えて下さり、会員の皆さんも顔なじみでもあり、お久しぶりですという

挨拶を交わしておりました。いすみ鉄道は自費で鉄道運転手の資格を取り、合格した者をいすみ鉄道の社員として採用するというユニークな会社ですが、今年では自費での訓練生は3期目に入り今年度の研修生の中には女性に加わり新聞でも紹介されていました。鳥塚社長いわく、旅客バスは運転する際には赤信号あり、一時停止あり等々さまざまな交通事情に合わせた運転をしなければならない難しさがある。しかるに、鉄道はレールの上を走らせるだけで、止まったり走らせるだけなのにどうして電車の運転手の免許取得の方が難しいのでしょうか、もっと簡単に資格を取らせてもらいたいですね、と。うーん、そういう論理もあったか。さすが幅の広い鳥塚社長の弁と、感心して聴き入りました。

大多喜駅より歩いて、徳川四天王の一人本多忠勝が安房の里見一族の抑えに入城した大多喜城を登る。天守閣のある山上までの勾配は、かなりのきつさでややもすると年齢を気にしそうになった。昼食後は、大多喜町に古くからある夷隅神社を参拝する。街中を2時間程、散策して大多喜町を後にし、上総中野から小湊鉄道に乗り換え旅路の終わりに近づいた。鉄道沿線の菜の花は、まだ満開とは行かなかったが、ムーミン列車のいすみ鉄道、

上総中野からの小湊鉄道の沿線は、竹林あり杉の木立ありの緑の中を走る電車に何か癒しを感じたのは私だけではなかったであろう。今日一日、雑踏の中で暮らされている皆さん、たまにはのんびりと歩く小旅行も良かったのでは、ないでしょうか。



4月度 研修会

平成 24 年 4 月 28 日(土) 15:00～17:30

場 所 船橋市中央公民館

参加者 新見健司、大塚亜喜雄、山下恭司、鶴岡義明、林 久雄、小塚彦明、鈴木伸一、西村 豊、
中嶋清介、稲村和彦、山田 一

テーマ 経経営士と環境の関わり

講 師 島川 憲夫 会員（神奈川県会）

日本経営士会では環境問題に焦点を当て、昨年より経営環境士としての資格を新たに設けました。昨年の東日本大震災での福島原子力発電所事故に伴う放射能問題、又、従来から取り上げられている地球環境問題等、環境に対する問題は山積みされているのが現状です。千葉県にあっては、匝瑳地区の津波被害、浦安市から千葉市に至る東京湾沿いでの液状化現象、最近では、原発事故から発生した放射能汚染による農産物被害等千葉県下では環境に関して、より身近な問題が起きております。

今回は日本経営士会環境経営士の第1期生であり、千葉支部でも馴染みのある神奈川県会の島川憲夫会員による、「経営士と環境の関わり」に関して講演をして頂きました。経営士からみた環境問題を以下の内容で、詳細に分析して頂きました。

1. 経営士と環境の関わり（今経営士に求められているものは何か、ビジネス展開に必要なものは何か）
2. “Think Globally, Act Locally”（地球環境で考え、足元から行動せよ）
3. 「環境」と「ECO」（環境とECOは同じように思いがちだが、実は違う）
4. 地球の環境破壊の原因
5. 「持続可能な開発とは」
6. 「環境問題の具体的内容」
7. 「地球環境に対する国際的な取り組み」、「日本の環境基本法」及び「日本の環境関連法規等」
8. 千葉県の環境施策
9. 江戸に学ぶエコ生活
10. 東日本大震災以降で変化した地球環境に対する意識

地球全体のグローバルな環境に対する位置付けから日本での環境に対する取組へと展開され、最後には我々の地元である千葉県がどのような方向性で環境を考えているのか、具体的に説明を受けることが出来ました。

千葉県のホームページを覗くと、環境に関してさまざまな取組、施策が施されております。千葉支部としても昨年よりエコ研究会を立ち上げ、環境という切り口から千葉県を見て行くことになっています。今年度は、より

研究会活動を強化して、具体的活動に結び付けるべく計画中でもあります。多くの会員が環境に目を向け、環境経営士の資格に挑戦するとともにビジネスに繋げて行こうと今回の講演を契機に出席された皆さんも気持ちを新たにされたようでした。



4月コンサルティング研究会 第1回

平成24年4月22日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター Aブース

参加者 岩野邦久、若月英司、林 堯夫、大久保 篤、稲村和彦、金子昌夫

(1) 平成24年度活動テーマの確認

コンサル研の平成24年度活動テーマの確認、特に「個別企業の経営課題の発掘と解決」をテーマにした活動を強化するとともに「コラボ産学官千葉支部」等のベンチャー育成にも注視することとした。また、千葉県経営者協会、千葉県商工会議所連合会、千葉県商工労働部、ベンチャークラブ千葉等の訪問を継続的に行うこととした。

(2) 具体的活動

4月24日 千葉県商工労働部経営革新・商業支援室長江澤室長、千葉県商工会議所連合会森田事務局次長、千葉商工会議所加藤課長、林課長等と面談してコンサル研の24年度活動テーマを説明して相互に情報交換した

5月コンサルティング研究会 第2回

平成24年5月20日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター 第一研修室

参加者 岩野邦久、若月英司、林 堯夫、大久保 篤、稲村和彦、金子昌夫

営業マン育成プロジェクトに関して「組織営業への整備について」及びその他資料を議論・検討し、営業アンケート調査の実施に向けて推進することを確認した。次回コンサル研で取りまとめ完成の予定。5月中に千葉県経営者協会、八千代商工会議所を訪問予定。

農業・観光研究会の活動テーマ

農業・観光研究会の今年の活動テーマを掲載いたします。

平成 24 年	4 月～6 月
* 先期の引継作業（含む訪問等々、西村さん、山田さん、山下さん） * 農商工・6 次産業および観光の素案作成 * 経営士会本部および各支部へ情報収集（打診） * パソナへ先期からの進展策の素案作成および実行 * 千葉県引継ぎ、千葉市打診、情報収集と中長期の取り組素案 * 商工会議所引継および今後の具体策 * 中小機構へアプローチ * 会員の増強策	
7 月～9 月	
* 各大学へのアプローチ * セミナー・講習会の開催 * シニア会員の派遣（講師等） * 農商工・6 次産業および観光の方向付け * パソナへ提案 * 千葉県、千葉市、中小機構等々へ打診 * 会員の増強策	
10～12 月	
* セミナー・講習会の開催 * シニア会員の派遣（講師等） * 農商工・6 次産業および観光対策 * パソナとの具体化策 * 各大学へ提案策 * 千葉県、千葉市、中小機構等々へ提案 * 会員の増強策	
平成 25 年	1 月～3 月
* セミナー・講習会の開催 * シニア会員の派遣（講師等） * 農商工・6 次産業および観光の協議 * パソナとの連携 * 各大学へ提案 * 千葉県、千葉市、中小機構等々へ内容のチェック * 会員の増強策	

支部活動に関するご報告とお願い

(社)日本経営士会 千葉支部

副支部長 鈴木伸一

支部会員各位におかれましては、支部の活動にご協力いただきましてありがとうございます。
本年の定時報告会も無事おわりまして、支部も新年度の執行体制に衣替えとなりました。
会員総務の立場から皆様に、ご報告とお願いがございます。

まず、支部活動の外部広報活動の一環として、従来より支部ホームページを開設しております。一昨年に大幅なリニューアルを行いアクセス数も予想以上の増加を見ております。その中のコンテンツとして、無料経営相談の申し込みを受け付けております。わずか一件ですが昨年度に無料経営相談の申し込みがありまして、山田 副支部長と山下 会員が相手先へ赴いて無料相談を実施したのち、コンサルティング契約が成約されました。

そこでお願いですが、このような場合に無料相談を行うためのメンバーが必要となります。一部の人に集中するのではなく広く支部会員にチャンスを与えることが会員総務の役目でありますので、ぜひそのような際に手をあげていただきたいと思います。しかしながら会員の資質がわかりませんと、どなたに何をお願いすればいいのかが決められません。そのような場合、テーマに合わせて支部研究会や各種研修会に参加されている方の中から選ばせていただいております。責任が伴うものですから支部の活動に参加をいただいている方の中で適任者を優先させていただくこととなりますのでご承知おきください。各支部活動へ参加いただくことがコンサル実務経験の早道となりますので、率先して参加いただくことをお願いいたします。

また、支部のホームページは経営支援センターとして公的なものとしておりますため、会員向けの連絡は、専用のブログとメーリングリストによって行っております。支部の活動状況や、外部からいただいた仕事や研修などの情報もこれらで発信しております。

皆様へのお願いとしては会員総務へメールアドレスをお知らせください。またメールアドレスが変更になった場合は、すぐにお知らせください。タイムリーな情報が多く時間的な制約もあり電話、FAX等での連絡をしていないものが大多数です。ぜひメールアドレスのご登録をお願いいたします。すでに支部会員の3分の2の方がメールにより情報を受け取っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に一般社団法人化の管理強化を進めるため、会計処理要領を制定いたしました。支部ホームページの年次切替えの際に掲載いたしますので、ごらんください。

今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

メールアドレス通知先：shin_suzuki@nifty.com

支部怪会員向けブログ：<http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>

各研究会の活動予定

コンサルティング研究会

平成24年度のコンサルティング研究会（コンサル研）は以下の活動テーマにそって実施していきます。

(1). 社長啓発プロジェクト

千葉県商工会議所連合会、千葉県商工労働部、(財)千葉県産業振興センターとの連携強化

(2). 営業マン育成プロジェクト

(社)千葉県経営者協会、県内商工会議所でのセミナー実施

(3). 海外進出支援プロジェクト

(社)千葉県経営者協会、県内商工会議所でのセミナー実施

(4). ベンチャー育成プロジェクト

千葉信用金庫、(社)コラボ産学官との産学官連携活動開始

千葉大学、千葉工業大学、千葉商科大学、東京情報大学への起業支援活動開始

具体的な活動としては、毎月一回集合し以下の作業を行っていきます。

(1). 講演会、セミナーの開催、個別企業への1日無料グループ診断、営業アンケート調査の

実施、冊子配布による経営支援

(2). プロジェクト関連の冊子作成

(3). ベンチャー・キャピタル創設の検討

参加ご希望の方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

コンサルティング研究会 会長 大久保 篤 a-okubo@yb4.so-net.ne.jp

農業・観光研究会

平成24年度の農業・観光研では、以下の活動計画に従って実行していきます。

参加申込みは、以下までお願いいたします。

農業・観光研究会 代表 新見健司 niimi@mynix.co.jp

経営士会が今年、一般社団法人に移行することを留意して農業観光研究会が「社会貢献型」「地域密着型」として事業活動を進めることは従来に比しよい機会と考えられる。

農商工（6次産業）および観光がともに相連携することで千葉県の特徴あるツーリズム的発想が生かされ地域にこだわり又地域に感謝される活動を目指すことは千葉支部の今年度のテーマである「共創」に沿い、よりよい工夫と実践が試される活動計画と考えて行きたい。

活動の基本方針

＊従来の活動のデータベースとノウハウをもとに会員相互の協力を得てさらなるイノベーションを図り、いきいき感を創出する。

＊千葉の農業・観光県としての特質を生かし、農商工連携および6次産業の視点と観点で応用と成果を訴追して行く。コミュニティビジネスの考えと相乗効果を狙いたい。

＊温暖であり歴史のある千葉県の観光立地を地域まち興しの考えのもと、前期の成果を深堀することでさらに発展させたい。

重点課題

＊予算のあるところに食い込み連携する（予算の無いところにはビジネスは期待できない）

＊支部が収入を得る仕掛けを増やす。

＊賛同（協力者）する会員を増やす。

＊シニア会員を講師派遣する。

＊海外との農商工・6次産業（含む観光ツーリズム）をチャレンジする。

要 点

＊千葉県、千葉市等々と課題を共有し将来の予算取りを目指す、一方パソナとは今期中にビジネスの仕掛けを再構築する。

＊セミナー（含む会計セミナー）、講習会有料形式（資格、商工会利用等）、パソナのインセンティブ形式などの実践。

＊上記来訪者の勧誘および農商工・観光に携わる方々へ経営士マインドのPRと当会へ入会勧誘する。

＊要請に応じて各方面のスペシャリストを講師として派遣する（経営、会計、環境、MPP等々）。

＊国内の閉塞感から視線を台湾若しくは韓国へ向け農商工・6次産業・ツーリズムの連携形式を探る。

行動予定（通期）

前期は出来る限り早く現状を把握し対外的な活動に力点を置き後期に向けた展望策をとる。後期は実践の成果が上がるよう努力することとする。

環境経営研究会

平成24年度の環境経営研究会（エコ研）の活動は、研究会の活動方針にのっとり、まずは研究会の活動を軌道にのせることを重点的に行っていきます。

参加申し込みは、以下までお願いします。

環境経営研究会 代表 林 久雄 hayashi-hisao.ssi@yacht.ocn.ne.jp

活動予定 （予定ですので活動の状況により変更する場合があります）

- 1) H24・4・28；第1回研究会（済み）
- 2) H24・5・26；第2回研究会
- 3) H24・6・30；第3回研究会 （eco検定受講者対象研究会）
- 4) H24・9・29；第4回研究会
- 5) H24・11・24；第5回研究会
- 6) H25・2・23；第6回研究会

環境経営研究会活動方針

- （1）経営士会が行う環境関連セミナーによる研修
- （2）他事業団体とのコラボレーションにより広い活動を実践
- （3）現在発生している企業がらみの環境諸問題に根本対策への助言、苦情処理、支援が出来る人材育成
- （4）コンパクトエコシステム(CES)に啓蒙・普及
- （5）企業のEMS取得支援
- （6）東京商工会議所が年間2回実施するECO検定試験の受験対策講座を開設
- （7）その他、環境ビジネスの概要について研究・研修

第46回経営士全国会議

第3回ビジネス・イノベーション・アワードのお知らせ

第46回経営士全国研究会議・埼玉

今大会の包括テーマは、経営士の役割を再確認し、経営士会が次の時代に向けて力強く再スタートをきるのに相応しいものです。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日程：平成24年10月13日(土)～14日(日)

開催場所：「ホテル ヘリテージ・リゾート」埼玉県熊谷市小江川228

包括テーマ

1. 「明日のビジネスを担うコンサルタントの視点」
2. 「地域の力で全国を元気にさせる」

第3回ビジネス・イノベーション・アワード表彰式

第3回ビジネス・イノベーション・アワード表彰式は、第46回全国研と同時開催します。アワードは、第一回と第二回のアワードを通じて、外部からの注目度はかなりが高まっています。東京支部や近畿支部など一部の支部からは会員のクライアントや地域の企業などを推薦してもらっていますが、更に、この流れを加速して、クライアントとのパイプを築くためにこのアワードを活用して頂きたい。

また、今年は東日本大震災から1年となります。震災復興に焦点を当てた企活動を取り上げて、「東北を元気にする・日本を元気にする」にするためにも、各支部から積極的に推薦していただきたいと思います。

推薦企業をご紹介いただく場合は支部長宛てにご連絡ください。

応募選考スケジュール

応募受付期間	6月1日～7月20日
選考審査	8月
選考結果発表	8月下旬
表彰式	10月13日

研修、研究会実施のお知らせ

◇月例研修会のご案内

7月 MPP研究会

日 時 平成 24 年 7 月 28 日(日) 15:00～18:00

場 所 船橋市市民会館

テーマ 「道の駅物産館—レストランの採算計画手順」

地域振興策の一環として、ある町役場の課長が道の駅開設プロジェクトの責任者となった。

道路管理者の県土木事務所による道の駅本体の建設費・維持費負担、農水省への補助金申請等は良しとして、運営会社（第3セクター方式による株式会社組織）に委託するレストラン、物産館等の市場調査や採算計画の策定はどうすべきだろうか。

9月 MPP研究会

日 時 平成 24 年 9 月 29 日(日) 15:00～18:00

場 所 船橋市市民会館

テーマ 「不確実性時代の利益管理手法」

親しんできた(伝統的な)損益分岐点分析による利益管理手法・・・しかし今日の競争市場・国際情報化社会では妥当しなくなる場面もある。一物一価ではなく価格を低減しながらもシェアを維持せざるを得なくなった場合には動態的損益分岐点分析なる手法があるという。どういうものだろうか。

11月 MPP研究会

日 時 平成 24 年 11 月 24 日(日) 15:00～18:00

場 所 船橋市市民会館

テーマ 「収益改善に向けての社長のリーダーシップと組織のあり方」

景気低迷下の中堅建設会社、連続2期の赤字である。社長は起死回生策として中期3ヵ年計画を立案、工事原価目標、遂行方針を会社幹部会議で熱く説明し、それぞれの意見を求めた上で合意を図り実施を指示した。・・・しかし実行されない。はたして社長はどうすべきだろうか。

◇コンサルティング研究会のご案内

6月 第3回 コンサルティング研究会

日 時 平成 24 年 6 月 23 日(日) 13:30～18:00

場 所 千葉市生涯学習センター 小会議室

◇農業観光研究会のご案内

農業観光研究会は時宜に即したテーマで適宜開催いたします。

お問合せは、新見健司 会員 (niimi@mynix.co.jp) までお問合せください。

日 時 平成 24 年 6 月 30 日(日) 10:30～12:00

場 所 船橋市 中央公民館

◇環境経営研究会のご案内

日 時 平成 24 年 6 月 30 日(日) 15:00～18:00

場 所 船橋市 中央公民館

東京商工会議所主宰のエコ検定の直前対策講座を実施します。環境に興味ある方、仕事で活用しなくては
いけない方を対象に合格に向けて指導します。ぜひご参加ください。

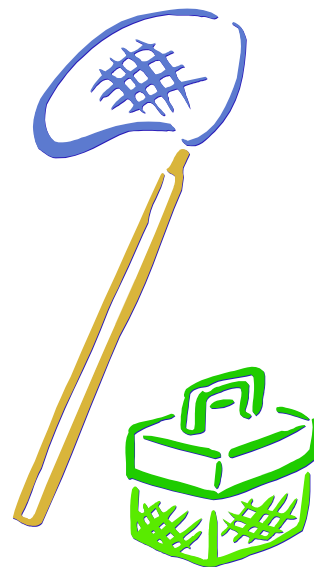
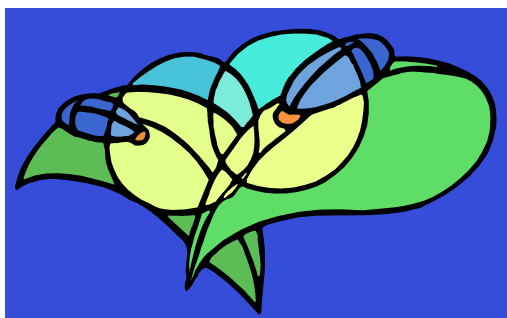
本部総会定款改訂ご賛同のお願い

千葉支部長 西村 豊

皆様の手元にも本部より通常総会の案内が届きではないかと思います。再三の周知で申し訳ございませんが、一般社団法人へ移行するための定款変更が今通常総会に上程されます。定款変更を行うには会員の4分の3の賛同が必要となります。一般社団法人に移行できない場合は、平成25年11月末日に会は自然消滅となります。日本経営士会を存続させると共に新たに一般社団法人としての活動を進めるためにも皆様のご協力が必要となります。ぜひ6月14日（木）に開催されます総会に参加されるか、定款変更に賛成する委任状を、すぐにご送付いただくことをお願いいたします。

本部より届きました総会資料に目を通していただきましてよろしくご対応ください。

また、今回につきましては重要な意思決定が行われますので、参加意思・委任状の提出の状況を把握する活動をおこなっております。状況が思わしくない場合には直接、皆様にご連絡をすることもあるかと思いますが、その節はご面倒でもご対応いただきますよう重ねてお願いいたします。



メールアドレスを変更した際は、広報担当 鈴木（shin_suzuki@nifty.com）まで、新しいメールアドレスをお知らせください。メール未着の場合は、封書による再送ができない場合がございます。その際は支部報を支部ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードをお願いします。